

災害時の健康と栄養を支える研修会～今こそ進めよう、わが町の食の備え～

1 目的

食は、健康ひいては生命を維持するために不可欠な要素である。そのため、災害時においても住民の健康を維持し、災害関連死を防ぐという観点から、食の備えは自治体の重要な責務の一つである。

一方、令和6年能登半島地震では、食事の確保が優先になり、健康に配慮され、利用者側の視点に立った満足度の高い食事提供が難しい等の事例が報告される等、災害時の食の課題が浮き彫りとなった。

そこで、災害時でも被災者の健康を維持すると共に QOL を引き上げ、生活復旧の活力となるような食事提供体制整備と災害時でも円滑に栄養・食支援活動を行うことができる人材を育成することを目的として、標記研修会を開催する。

2 実施主体 村山保健所、最上保健所、置賜保健所、庄内保健所

3 対 象 市町村行政栄養士、保健師、防災担当者、食品衛生監視員等

4 期 日 令和7年7月8日（火）13:30～16:00

5 開催場所 村山保健所二階大会議室（山形市十日町一丁目 6-6）
最上総合支庁 203 会議室（山形県新庄市金沢 2034）
置賜総合支庁 502 会議室（山形県米沢市金池 7-1-50）
庄内総合支庁（山形県東田川郡三川町大字横山字袖東 19-1）

6 内 容

（1）講話「災害時の食の実際～人こそが人を支援できる～」(60 分)

講師 公益社団法人 ピースボート災害支援センター（PBV）
大塩さやか氏

（2）グループワーク「わが町の備えを進めるために」(75 分)

講師 公益社団法人 ピースボート災害支援センター（PBV）
大塩さやか氏